

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年4月1日

事業所名 ドューラボてだこ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に合わせて、個室も使いながら対応している</li> <li>・机の配置、椅子の数など人数や季節ごとに変えている。</li> <li>・児童達が走り回っても大丈夫なスペース作りをしたい</li> </ul>	・コロナ禍でこれまで以上にスペースの有効活用が求められている。日々工夫を行っていききたい。
	2	職員の配置数は適切である	2	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時など、手薄にならないように配置を工夫している。</li> <li>・職員間で連絡をこまめに行っている</li> <li>・室内は問題ないが、送迎での人員が欲しい</li> <li>・職員のお休みを踏まえてプラス1フリー職員を配置してほしい</li> </ul>	安心して送迎が可能なように工夫や人員についても経営側と協議して考えていきたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋間の段差が少し気になる</li> <li>・将来的には車いすの児童も受け入れできるように段差をなくしたい</li> </ul>	必要な児童が利用する場合には相談室やトイレなど、スロープ等の対応をしていきたい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議や気になるタイミングでしっかりと話し合えている。</li> <li>・ミーティングが以前より頻繁行われている</li> </ul>	引き続き、職員と同じ目線が持てるように情報共有を行っていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			・毎年、アンケートをとっている	職員とも共有し、保護者の意見を元に支援を改善していけるようにする
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			・ホームページで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		・外部からのフィードバックを直接聞いたことはない	可能な限り、外部フィードバックを得られる環境を整えていきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		・虐待防止の理解を深める勉強会がありました	さらに職員の支援の質や視点、バリエーションが増えるような研修を行っていききたい

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			・全職員で読み合わせし、支援内容を吟味している ・児発管からの頻繁な支援会議の開催があります	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		・児童達の様子を全職員で積極的に情報共有している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		・全職員で月に1回、イベントミーティングを行なっている。ドリルチームの結成をして、情報共有ができています。 ・チームを立ちあげたので楽しみ ・各曜日のドリルチームの編成がありました	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			・ドリル時間に様々なプログラムを実施している。 ・ドリルチームでの話し合いを進めています	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	3		・長期休みは、体を動かす時間を取り入れて、PCの時間が長くなりすぎないように調整している。 ・もっと外出支援等の機会を増やしてあげたい	コロナ禍後は外遊びを積極的に取り入れるなど活動が一辺倒にならないような工夫を行っていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			・児発管からの細やかな支援計画の共有があります	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			・朝礼や送迎確認時に情報確認しています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			・送迎後、朝礼時に情報共有しています	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			・担当職員をもうけ、管理者とのダブルチェック体制ができています		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			・適宜、児発管を中心に行われています	・職員にも共有しリアルタイムな支援の変化に対応できるようにしていきたい
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	2		・ガイドラインの読み合わせを全職員で定期的に行っても良いかもしれませんが	同じ目的や視点を持つために、基本的な姿勢や活動のあり方など定期的にガイドラインの認識を合わせることを行う
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			・児発管から細やかな情報共有があります	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			・朝礼後に全職員で確認をしています	職員一人一人が意識して情報を集め、共有する意識が芽生えてきており、以前より情報共有が密になっている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3		・現在受け入れを行なっていない ・受け入れ実績なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	2	・受け入れ実績なし	今後必要な児童がいれば、相互理解のための会議を開いていく予定
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4		・卒業実績なし	今後必要な児童がいれば、相互理解のための連携会議は開いていく予定
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			・コロナ禍で研修の機会が少ない	多角的な視点を持つために、必要な研修は取り入れていきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	2	・最近、児童館の活用を始めた ・保護者からの希望なし	今後は必要な交流や運用であるため、どのような地域資源との関わりが持てるか検討していきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2	2	・参加実績なし	自立支援協議会を理解し、活用していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			・LINE等活用しています送迎時などに情報共有し、それ以外にもこまめにラインやリムでやり取りするようにしている。	コロナ禍でオンラインの児童の変化についてはもっと積極的に心身の状況を得る必要があるため、情報交換を密にしていきたい
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている		3	2	・年1度 保護者向け講習会を行なっている ・研修があれば参加してみたいです	集団での保護者会は行えているが、個でのペアトレは行えていないので必要があれば支援していきたい

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			・お支払い時に情報共有している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			・保護者への声かけを全職員で意識している	今後も送迎時など含め、可能な限り保護者とは何気ない会話なども行えるように意識して、細やかな支援につなげていきたい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1		・定期的等家族会の開催をしています	様々な共通の悩みをお聞きしているので、コロナ禍後はシェアできるような会を開催していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				今後も保護者が話しやすい、伝えやすい雰囲気や環境作を意識したい
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			・月に1回、お便りを配信している。	
	35	個人情報に十分注意している	5			・HPやSNSには、顔や実名を出さないようにしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	3		今後は必要な事業であるため、どのような地域住民との関わりが持てるか検討していきたい
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1			まだ十分には周知しきれていないので、理解していただくための周知を行う
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				訓練は定期的に開催しているが、その様子をもっと公開して安心してもらえるようにしたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				今後も発見や報告のフローを組織的に運用していきたい
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2			まだ対象となる児童はいないが、虐待防止研修の中でも取り上げ、職員間での認識を揃えていきたい
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2			基本的に医師の指示のもとで対応。職員の認識を揃えていきたい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		・事例集を職員で共有できるようにしたい	日々起きている情報をもっとスムーズに共有できるようにして、定期的に事案を共有するなど、安全に配慮した支援ができるようにしていきたい